

ソマリア難民キャンプでの保健医療活動(ジブチ共和国)

1、国際医療協力活動に関わ
るまで
私が「国際医療協力」とい
う活動があることを知ったの
は、看護婦として働き始めて
しばらく経ってからでした。

2、ソマリア難民キャンプで
の活動

まず、ジブチ共和国がどこ
にあるのか、生存の方は少
ないと思います。実際私も
「ジブチに行ってください。」
と言われて「ジブチってど
こ？」という有り様でした。
アフリカの角と呼ばれる地
域、ソマリアの北部に隣接
し、紅海の丁度入口あたりで
すが、地図で見てもうっかり
見落としてしまいます。ジブ
チは四国の約1・二倍の面積
です。もともとソマリアに
含まれていた地域ですが、ヨ
ーロッパ植民地時代にフラン
スにより支配を受け、一九七
七年に独立しました。半乾燥
地帯に属し、夏の平均気温は
三十八度となっていますが、
首都ジブチは沿岸にあり五十
度近い日々が続きます。難民
プロジェクトチームは、首都
から百キロメートル内陸で、
標高九百メートルの町に拠点
を置いていきますので、比較的
過ごしやすい状況です。

難民キャンプは三か所あ
り、それぞれ規模が異なりま
す。各キャンプには診療所
母子保健センター、栄養セン
ター、経口補液センターが設
置されており、各セクション
には現地スタッフが働いてい
ます。その他にコミュニティ
ヘルスワーカー(CHW)
や伝統産婆(TBA)がいま
す。

診療所では患者の診療、薬
の処方などが行われます。母
子保健センターでは妊婦検
診、予防接種の他に、TBA
との連携や指導を図っていま
す。栄養センターでは栄養失
調児・者に給食を行い、また
妊婦・授乳婦に対し月一回食
品を配給します。経口補液セ
ンターでは下痢による脱水の
患者に対しORS(Oral
Rehydration・Sals)を
与え、必要時には点滴を行
います。いずれのセクションで
も、その担当者が対象者を
教育するプログラムを立てて
います。プロジェクトチーム
としては、各セクションの監
督や指導、スタッフへの教育
を、カウンタパートはもと
より、ジブチ政府難民局の医

療チームとも協力しながら行
っています。

3、活動を通して
教育について

ローカルスタッフへの教育
は、スタッフ全員を対象に各
キャンプで行われるものと、
テーマに合った対象者に行っ
てあります。患者さんや
母親に直接関わるのは、やは
りそこで働いている人達です
ので、彼らが自分達で判断
し、実施できるようにするこ
とが大切ではないかと思いま
す。各キャンプ毎では、講義
形式をとることが多いので
が、私達外国人は通訳に時間
を要したりしますので、徐々
に彼らに担当してもらおうよ
うにしました。

いろいろな教育プログラム
に関わり、私が感じたこと
は、実際に私達が行うよりも
やはり現地の人が行うほうが
良いのだということです。な
ぜなら彼らが自分達で行っ
て、自信を持てるからだと思
います。その時の私達の役
割としては、スタッフに同じ
た内容や興味の持てるような
方法を一緒に考えることだ
と思いました。

後、汚れたまま放置されま
した。その後トイレの必要性を
説明しても「お金を払えない
のならやらないよ。」という
人がまだまだいます。トイレ
の使用状況を調べた時、他の
二つのキャンプではインタビ
ューした家の半数以上がトイ
レを持ち使用していたにも拘
わらず、そのキャンプではゼ
ロでした。誰かが良かれと思
って行ったことでも、後で問
題として根強く残ることがあ
り、援助を考える時に注意し
なくてはならないことだと思
いました。その後また別の機
関がトイレが必要だと言
い、設置したいというのでした
ので、家族用にして欲しいと
申し入れたのですが、公衆用
を設置してしまいました。大
きな機関で資金もあり、一気
につくり上げましたが、結果
は言うまでもないことです。

4、おわりに

ボランティヤとして関わり
始めた活動ではありませんが、
気持ちだけでは何もできな
いことを実感した日々でもあり
ました。一年半の派遣期間中
様々な経験をし、そこで考え
させられたことが多くありま
した。その時支えとなり、大
変役に立ったのは、災害看護
研修で得た知識でした。学ん
だことを再確認、応用するこ
とで対応できたことがたくさ
んありました。私がジブチで
得たことを少しでもINFD
にお返しできる機会を与えて
いただいたことに感謝いたし
ます。私は国際医療協力活動
に関わり続けていくために
も、知識を深め、現場に返し
ていきたいと考えています。
(宮崎朋子・看護婦)

トイレの状況

ジブチもそうですが、ソマ
リアは遊牧民の国で、人より
も家畜のほうが多いと言われ
ます。草を求めて移動するの
で、用はその辺で足すものな
のです。しかしキャンプとい
う、人が集まって生活しなけ
ればならないような場所にお
いては、具合が悪いことで
す。キャンプの近くには干上
がった川があるので、少
し掘ると水が湧き出でてきま
す。夏には井戸の水位も下が
り、水が足りない時には、そ
のような水を汲んでいる人も
います。そして、そのまわり
は排泄場所になっていること
が多いのです。私が派遣され
る前の夏までは、コレラが発
生していました。難民局では
トイレ設置に力を入れてお
り、必要性を感じている難民
に対して資材を提供していま
す。つまりのはもちろんその
難民の人達です。ソマリア社
会は親類関係の絆が強いこと
もあり、キャンプ内でもその
ような近い関係の人が集まっ
て住んでいることが多く、協
力して自分達のトイレをつ
くらります。自分達のトイレな
のでいつもきれいに保たれて
います。以前一つのキャンプ
に公衆用のトイレが設置され
ました。ある機関が難民を雇
い、そのトイレをつくったの
ですが、しばらく使われた